

HTML TIPS & TRICKS

第 3 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

このコーナーもスタートしてから3回目を迎えた。この間に多くのHTMLファンの方々から励ましのメールをいただいた。中には「さっそくTIPSを自分のホームページで使ってみよう」と言って、URLを送ってくれた方もいる。ますます増え続ける「TIPS & TRICKERS」のために、今月もあっと驚くCOOLなTIPSとTRICKS満載でお届けする。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(2月10日現在)。これを参考に、使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



3月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

第2回はかなりの難問だったにもかかわらず、多くのチャレンジャーから解答が寄せられた。さすがに正解者の数は前回ほどではなかったが、それぞれに工夫を凝らしたユニークなHTMLに、編集部では「これも正解でいいのでは」と頭を悩ませている。それでは、3月号「アイコンを制する」の解答を発表しよう。

ANSWER ① ナビゲーターからアイコンを呼び出せ!

ナビゲーターでFTPサイトにアクセスすると、フォルダーやファイルのアイコンが表示される。これがナビゲーター自身が内部に持っているアイコンなのだ。これを呼び出すには、

```
<IMG SRC="internal-gopher-index">
```

と記述する。「"」の中を変更することでさまざまなアイコンが呼び出せる。以下の文字列を入力してみよう。これらがこのパズルの答えだと分かるはずだ。

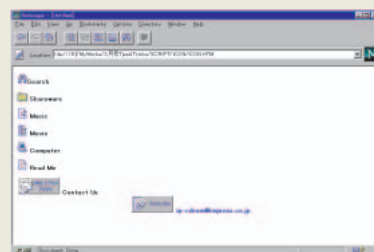
「internal-gopher-menu」, 「internal-gopher-sound」, 「internal-gopher-movie」, 「internal-gopher-telnet」, 「internal-gopher-text」, 「internal-news-followup-and-reply」, 「internal-news-subscribe」

ANSWER ② アイコンの正体を見破れ!

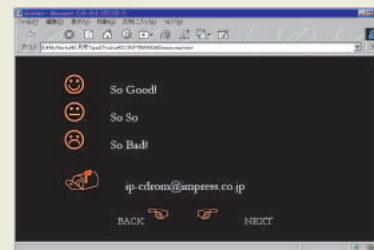
このアイコンの正体は、絵文字のような「Wingdings」というフォントだった。右図のようにアイコンとして使うためには、これを巨大に表示させ、かつWWWブラウザの設定に左右されないようにサイズを固定する必要がある。スタイルシートで次のように定義する。

```
<SPAN STYLE="color: red; weight: medium; font-size: 40pt; font-family: Wingdings;">
J
</SPAN>
```

タグを使った解答が多かったが、これではアイコンのサイズを固定できないこと、問題にエクスプローラのアイコンだけが付いていたことを考えると正解は<STYLE>となる。

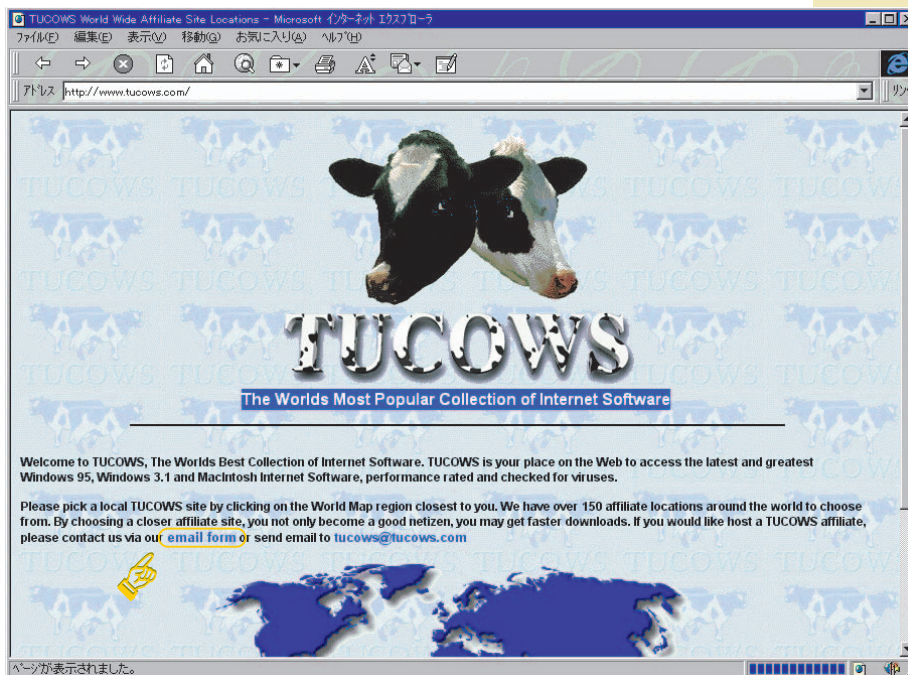


正解者の方々：Masaya Ishibashiさん、白畑真さん、Jun Katayamaさん、市川徹さん、ほか



正解者の方々：白井理浩さん、Koji Hattoriさん、古澤祐治さん、佐崎正幸さん、ほか

リンクのアンダーラインを消す



URL <http://www.tucows.com/>

Webページになくはないものの1つに「リンク」がある。ところが、ページのデザインを考える際に、この「リンクの下に引かれる線」がとても邪魔だと感じたことはないだろうか。WWWブラウザの設定項目には「リンクの下線を消す」などの項目がある。ページを見る側のユーザーが、すべてこの項目にチェックを付けていれば問題はないが、これはほとんど期待できないだろう。そこで左の図を見てほしい。「email form」という文字は、間違いなくリンクだ。それなのに、なんと「アンダーライン」がないではないか。では、どうやって？これが今月のTIPS第一弾だ。



```
<STYLE type="text/css">
```

```
A { text-decoration: none; }
```

```
</STYLE>
```

POINT

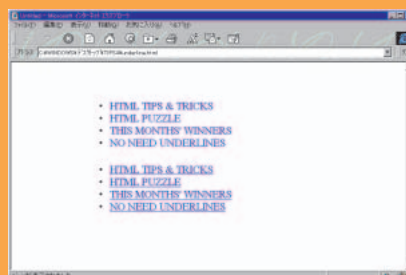
リンクのアンダーラインを消すには、スタイルシートを使えばよい。何種類かの設定方法があるが、上記のHTMLは、<HEAD> </HEAD>内にスタイル指定して、ページ全体にこれを反映させるやり方を使っている。これを書いておけば、ページの中で<A>タグで囲まれたすべての文字列(リンク)から下線が消える。定義している内容は次のとおりだ。

```
A { text-decoration: none; }
```

「A」はリンクを設定する<A>を指す。次の「text-decoration」とはまさに「下線」のことだ。「none」は「なし」という意味になる。これらをまとめると、「<A>タグで囲まれた文字列に下線をつけない」という指定をしたことになるわけだ。なお、ページ内のある特定のリンクだけにこの指定をしたい場合は、

```
<A href="URL" style="text-decoration: none;">文字列</A>
```

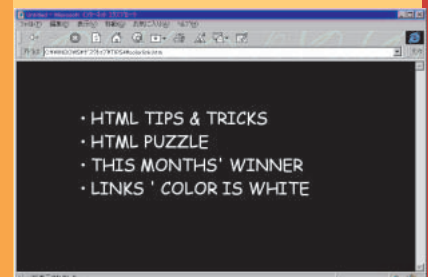
とする。これだけで驚くほどページがすっきりして見える。ぜひ、一度試してみてください。



下線がないとこんなに文字が読みやすくなる

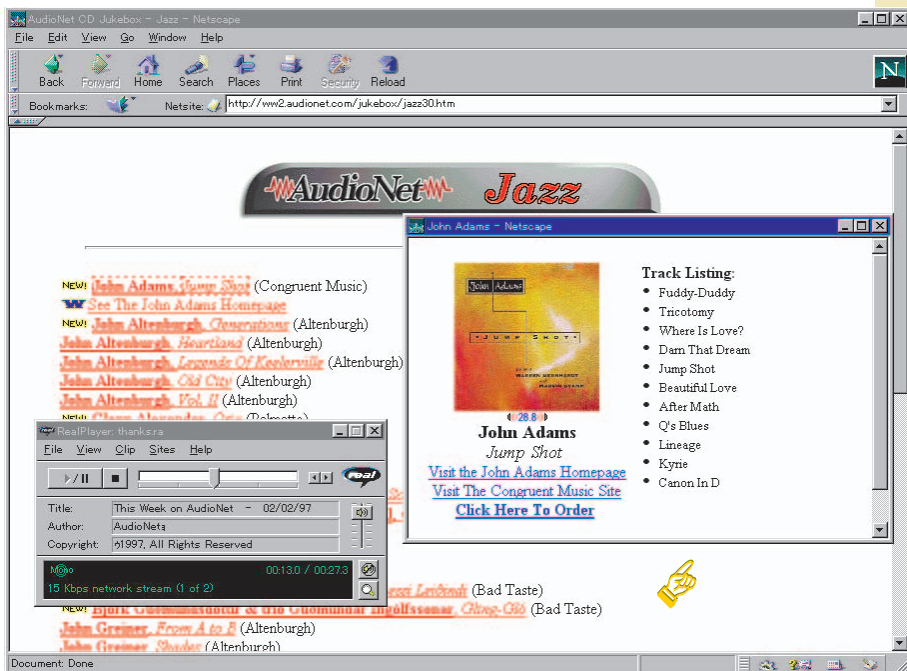
色も変えてみよう

この際リンクの「色」も好みに合わせて変えてみよう。スタイルシートも使えるが、<BODY LINK=(色名) VLINK=(色名)>が最も簡単な設定方法だろう。「LINK」はリンクをクリックする前の色、「VLINK」はクリックした後の色をそれぞれ表す。



これでリンクのデザインは思いのまま

第二のウィンドウを開く



このTIPSは、解説を読む前にまず左のページにアクセスしてほしい。「AudioNet」というリアルオーディオサイトだ。リンクになっている曲目をクリックすると音楽の再生が始まる。これだけでなくよくあることだが、このページのすばらしい点は、音楽の再生と同時にもう1つの小さなウィンドウが開き、ここにレコードジャケットや再生中の曲目リストなどが表示されるということだ。つまり、一度リンクをクリックするだけで「リアルオーディオファイル」と「ガイド画面」の2つのURLにアクセスすることになる。それではCOOLで不思議なこのTIPSを紹介しよう。

URL <http://ww2.audionet.com/jukebox/jazz30.htm>



1

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
function WindowOpen() {
open("guide.htm", "window1",
"toolbar=no,height=250,width=300");
}
</SCRIPT>
```

2

```
<A HREF="ファイルのURL" onClick="WindowOpen()">
文字列
</A>
```

POINT

この画期的な仕掛けは、JavaScriptを使えば実現できる。AudioNetのページではもう少し複雑なスクリプトを使っているが、ここではこれをできるだけ簡略化してみた。まず、①のタグを見てみよう。これは<Head> </Head>内に記述する。ポイントは、

```
function WindowOpen(){
open("guide.htm", "window1",
"toolbar=no,height=250,width=300");
}
```

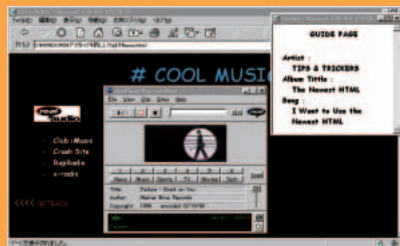
の部分だ。ここで「WindowOpen()」という名前の、HTMLの中で呼び出して使うスクリプトを定義している。この名前は好きなものを付けてよい。これを呼び出したときに何が起るかを「{}」の

中に記述する。まず、「open」でウィンドウが開く。次に「()」の中にある「guide.htm」を読み込む。「window1」はこのウィンドウの名前で、フレームなどで参照するターゲットウィンドウと同じ意味を持つ。「toolbar=no」によって、ウィンドウからツールバーが消える。その後の記述はウィンドウのサイズを決めるものだ。それでは、②を見てみよう。

```
<A HREF="ファイルのURL"
onClick="WindowOpen()">
```

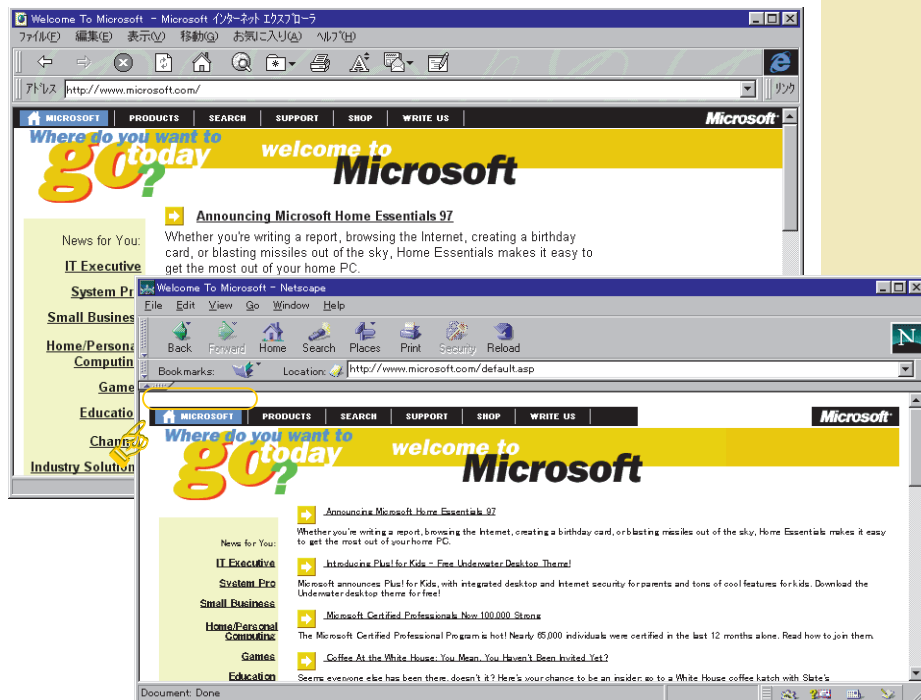
<A>タグは通常のリンクを表す。このあとの文字列をクリックすると、「ファイルのURL」にアクセスする。さらに「onClick」があることで、「リンクをクリックすると」"が起る"という定義をして

いる。つまり、先に定義した「Window Open()」を呼び出すことになる。これで、小さなウィンドウに表示される「guide.htm」というページと、リアルオーディオファイルなどのコンテンツにあたる「ファイルのURL」に同時にアクセスできる。ちょっと難しいが、ぜひ試してみてください。



コンテンツのガイドを表示させてみた

オールマイティなマージン設定



URL <http://www.microsoft.com/>



```
<BODY TOPMARGIN=0 LEFTMARGIN=0>
```

```
<LAYER LEFT=-1 TOP=-1>
```

本文

```
</LAYER>
```

POINT

ナビゲーター4.0のレイヤータグを使えば、`<LAYER>` `</LAYER>`で囲まれた文字や画像をページの好きな場所に配置できるのだ。このHTMLのポイントはまず、

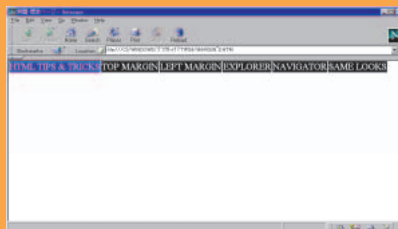
```
<BODY TOPMARGIN=0 LEFTMARGIN=0>
```

の部分だ。これは先にも述べたように、エクスプローラのためのマージン設定だ。「TOPMARGIN」はページの上端からの距離を、「LEFTMARGIN」は左端からの距離をそれぞれ表す。両方の値が0なら上図のように余白がなくなる。当然このタグはナビゲーターでは無視される。次に、

```
<LAYER LEFT=-1 TOP=-1>
```

でレイヤーの指定をする。「LEFT」はページの左

端からの距離を、「TOP」はページの上端からの距離をそれぞれ表す。これをマイナスに指定することで余白がなくなるわけだ。そして、こちらはエクスプローラでは無視される。結果として、どちらのWWWブラウザでこのページを見てても結果はまったく同じことになる。このような工夫が、これから最も重要なポイントになるはずだ。



ナビゲーターでもページの余白がなくなった

まずは左の2つのページを見てほしい。エクスプローラのユーザーなら一度は見たことがあるはずの、米国マイクロソフト社のホームページだ。このページをエクスプローラとナビゲーター4.0でそれぞれそれぞれ表示させてみた。どこが違うかはもうお分かりだろう。ナビゲーターではページの左部と上部にそれぞれ空白ができてしまうのだ。2月号のHTMLパズルでも紹介したように、エクスプローラにはページの余白をなくすための独自のHTMLがある。そこで、ここでは、どちらのWWWブラウザでも同じようにこの効果を出せる、画期的なHTMLを紹介しよう。これは便利だぞ。

ナビゲーター3.0の場合

残念ながら、ナビゲーター3.0では、マイナス指定が必要なこのTIPSは使えないが、余白を広げるだけなら`<SPACER>`タグを使えば、マージン設定をエクスプローラと同じにできる。

```
<BODY TOPMARGIN=50  
LEFTMARGIN=50>  
<SPACER HORIZONTAL SIZE=50>  
<SPACER VERTICAL SIZE=50>
```

としておけば、どちらのWWWブラウザでこのページを表示させても、上端から50ピクセル分、左端から50ピクセル分の余白ができる。これでWWWブラウザの種類を問わず、マージン設定が自由にできる。

リンクドスタイルシートを使う



左図はスタイルシートを駆使してデザインされたページだ。ざっと見ただけでも4種類の書体が設定されている。これだけのスタイルをそれぞれ定義していくとなると、この1ページの作成だけでもかなりの労力を必要とするはずだ。もちろんWebサイト全体を作るとなると、ページはどんどん増えていく。デザインには凝りたいが、手間を考えると「スタイルシートはやめた」と言いたくなる。でも、ちょっと待ってほしい。実はこのページには<STYLE>の記述はないのだ。その代わりに、どのページからも参照できるテンプレートのようなものを使っている。ではどうやって？ これが今月最後のTIPSだ。

URL <http://www.microsoft.com/workshop/author/other/linkedcss-f.htm>



1

```
H1 { font-family: Times New Roman;
font-size: 70pt;
color: white; }
H2 {font-family: Arial;
font-size: 40pt;
margin-top: -120pt;
color: crimson }
P {font-size: 30pt;
text-indent: 50pt;
color: blue }
```

2

```
<LINK REL=STYLESHEET HREF="style.css" >
```

POINT

この機能は「リンクドスタイルシート」と呼ばれる。まず、スタイル設定だけを記述したファイルを「CSS」の拡張子をつけて保存する。それぞれのページはこのCSSファイルにリンクを張れば、スタイルを参照できる。それでは実際に内容を見てみよう。

```
H1 { font-family: Times New Roman;
font-size: 70pt;
color: white; }
H2 {font-family: Arial;
font-size: 40pt;
margin-top: -120pt;
color: crimson }
```

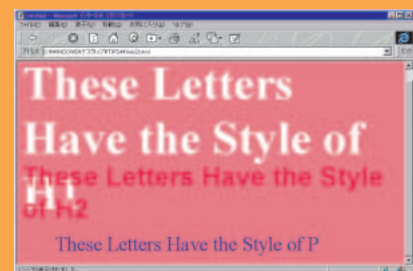
```
P {font-size: 30pt;
text-indent: 50pt;
color: blue }
```

これだけを記述したら、「style.css」などの名前を付けて他のページと同じフォルダーに保存する。中身はいくつ指定しても構わない。次に

```
<LINK REL=STYLESHEET HREF="style.css">
```

をそれぞれのページの<HEAD> </HEAD>内に記述する。こうしておけば、ページの中で<H1>や<H2>または<P>を使った際に、CSSファイルの内容が反映される。つまり、1つのCSSファイ

ルさえ作っておけばあとは②のタグ1行を挿入するだけで済むことになる。もうスタイルシートは怖くないぞ。



CSSファイルの設定が反映された

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

表を制する

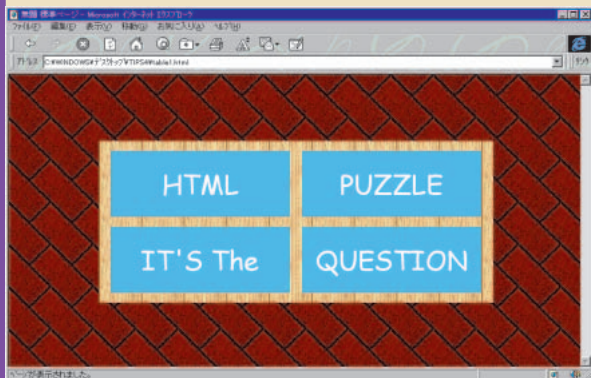
HTMLの中でも「表」ほどさまざまな用途に使えるものはない。段組、レイアウト、アイコン、メニューバーなど、これこそアイデアが生きるHTMLなのだ。さらにエクスプローラの表拡張機能を使えば、グラフィカルで不思議なデザインのページがいくらでも作れてしまう。そこで今月のこのコーナーでは、この「エクスプローラ表拡張タグ」に挑戦していただく。ナビゲーターユーザーもこの機会にこの機能を調べてみよう。トリックが分かったらすぐに解答を送ってきてほしい。正解者にはダイレクトプラスを発行させていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“表を制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」宛先

正解が分かった人も、分からなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず「HTML TIPS & TRICKS」の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

QUESTION 1 背景画像付き枠線の謎を解け！

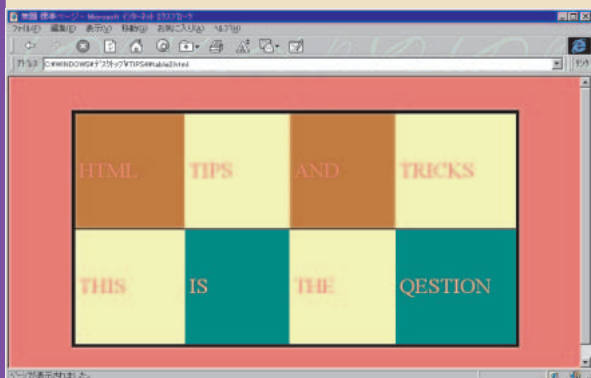


煉瓦作りの壁に、木枠の窓を付けたようなデザインのページだ。当然ページの背景には画像を使っている。さて、問題の表だが、この「木枠の窓」全体が1つの表でできている。2行2列の表のセルには水色の背景色を付け、それぞれの文字を書き込んだ。さて、問題は「木目の付いた枠線」なのだ。エクスプローラでは、確かに個々のセルに背景画像を使える。また、枠線の色も自由に指定できる。でも、どうすれば枠線の背景に画像を使えるのだろうか？ 左の図をよく見て考えてほしい。腕に自慢のチャレンジャーは、回を重ねるごとに増え続けている。答えが分かっているのに解答を送っていないあなた、今月こそ思い切ってメールを出してみよう。



はっきり言ってこの表を作るには「根気」がいるぞ……

QUESTION 2 横線はあり、縦線はなしの謎を解け！



さて、次はセルにさまざまな色を付けたカラフルな表だ。「でもこれのどこがパズルなんだ」という声が聞こえてきそうだが、よく見てほしい。まず、外枠には太目の黒い線が引かれている。そして1列目のセルを横に見ていくとそれぞれの色の境界には線は見えない。2列目も同様だ。ところが、1列目と2列目の境目に、1本の細い線が入っている。つまり、この表の中には「縦の線」はなく、「横の線」だけがあるのだ。おかしいなと思ったら、さっそくこの表を作ってみよう。おそらく、難度はかなり高いはずだ。これが分かったら本当に「脱帽」だ。今月もあの手この手のユニークな解答を期待して、健闘を祈る！



ある、エクスプローラ表拡張タグが必要だ。これさえ分かれば……



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp